



鹿島製作所案内

KASHIMA PLANT



Advanced technology for people and the environment

人に環境にやさしいフッ素化学工場として、
先端技術で独自の道を拓く。



人・組織・情報の全てを束ねる 鹿島統合生産センター

2021年に設立された鹿島統合生産センター(通称IPC)は、グローバル操業管理システムを基盤とし、運転管理、設備管理、生産管理に関わる人・組織・情報のすべてが集約され、知恵を出し合える様々な工夫が施されています。

鹿島製作所で構築した取り組みや技術をグローバル生産拠点に発信し、サプライヤー様やお客様、そして地域の皆様とつながることで新たな価値を創造します。

私たちが願うのは、すぐれた製品の創造だけではありません。

何よりも人と環境にやさしい技術と設備を有する工場でありたいと考えます。

鹿島製作所では「安全」と「品質の確保」を合言葉に、

フッ素化学の可能性を追求し、最新の設備・システムを持つ工場として、

高品質な製品を生産するために、さまざまな工夫を重ねながら

時代のニーズに応える製品づくりを行っています。

鹿島製作所の歩み

1983年 鹿島工場操業開始	1993年 1月 フルオロカーボンガス HCFC-141b(発泡剤)プラント完成	2002年 6月 SFAモノマー(中間体) プラント完成	2009年 7月 有機フッ素化合物(乳化剤) プラント完成
1983年 4月 HCFC-22(冷媒)プラント完成	1993年 5月 特殊焼却炉完成	2004年 4月 鹿島製作所に改称	2010年 2月 フルオロカーボンガス HFC-125(冷媒)生産終了
1983年 9月 4Fモノマープラント完成 PTFE樹脂プラント完成	1994年 7月 品質ISO9002 認証 (現在は ISO9001)	2006年 3月 PFA樹脂プラント完成	2012年 5月 有機フッ素化合物(中間体) プラント増強
1985年 7月 FEP樹脂プラント完成	1997年 1月 環境ISO14001 認証	2006年 9月 JISHA方式労働安全衛生 マネジメントシステム認定	2012年 12月 防汚コーティング剤 プラント完成
1986年 11月 PTFE樹脂プラント増強 4Fモノマープラント増強	1998年 1月 回収フロン破壊設備完成	2009年 4月 規制フロン HCFC-142b(発泡剤)生産終了 HCFC-141b(発泡剤)生産終了	2021年 4月 鹿島統合生産センター設立
1990年 3月 フルオロカーボンガス HCFC-142b(発泡剤)プラント完成	2001年 3月 フルオロカーボンガス HFC-125(冷媒)プラント完成		

化学事業の生産拠点として、さらなる発展をめざしています。



鹿島製作所では、ダイキン化学事業の関東での生産拠点として、フッ素樹脂及び化成製品等を生産。徹底した安全管理体制のもと、高品質な製品の安定供給を実現しています。お客様のニーズに応えた製品をつくり、地域にも信頼される製作所を目指しています。

鹿島製作所概要

竣工 / 1983年
面積 / 約247,000m²
生産品目 / フッ素樹脂
化成製品

製作所配置

- 1 正門
- 2 物流門
- 3 統合生産センター (IPC)
- 4 フッ素樹脂エリア
- 5 化成製品エリア
- 6 回収フロン破壊設備
- 7 グラウンド

地域社会への貢献を基本に、多彩な活動を行っています。

私たちは、環境対策への前向きな取り組みはもちろん、自治体内での安全管理活動も積極的に推進しています。さらに、周辺地域とのふれあいを鹿島臨海工業地帯だけでなく、地域の小学校を訪問して、子どもたちに楽しく学んでもらう「理科出前授業」や鹿島を代表するプロサッカーチーム「アントラーズ」への参画など、地域とともに歩み、成長する製作所を目指しています。



地域の小学校訪問「理科出前授業」

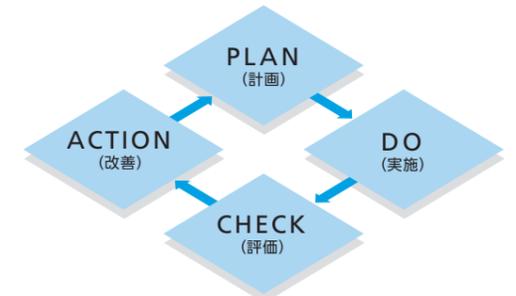


地域の皆様とのふれあいの場「鹿島製作所納涼祭」

安全・防災への取り組み

安全の取り組み

安定した製品の供給や、地域の皆様の信頼を得るために安全・防災に関する活動は欠かせません。そのため、鹿島製作所では無事故・無災害を目指し、さまざまな活動を展開しています。事故の発生を未然に防止するための設備安全対策の強化、全従業員が安全を最優先にする意識を持つための危険予知活動及び技能伝承のための技能オリンピック、感受性、気づきを養うための体感教育等の展開を図っています。また労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、危険箇所の撲滅にも努めています。



労働安全衛生マネジメントシステム
リスクアセスメントの展開



防災訓練



技能オリンピック



労働安全衛生
マネジメントシステム認定証

環境への取り組み

環境保全

オゾン層保護および地球温暖化防止のため、鹿島製作所では1998年に「回収フロン破壊設備」を完成。いち早く回収フロン破壊の体制を確立しました。この設備は、生産工程で発生する地球温暖化物質やPRTR法対象物質などの破壊処理をおこない、より地球環境の保全に貢献しています。



回収フロン破壊設備

回収フロン破壊設備

お客様から回収したフロンを燃焼破壊する設備。高温で完全に分解させるため、有害な物質は発生いたしません。

廃棄物ゼロ

環境にやさしいものづくりは、私たちの重要なテーマです。生産活動においては必ず廃棄物が発生しますが、埋立や焼却によって処理するのではなく、再資源化を積極的に進めています。2004年8月にはゼロエミッションを達成。さらに次のステップとして廃棄物そのものの発生量削減に取り組んでいます。



環境への取り組みが評価され、1997年にISO14001を取得。

ひとりひとりに、グリーンハート

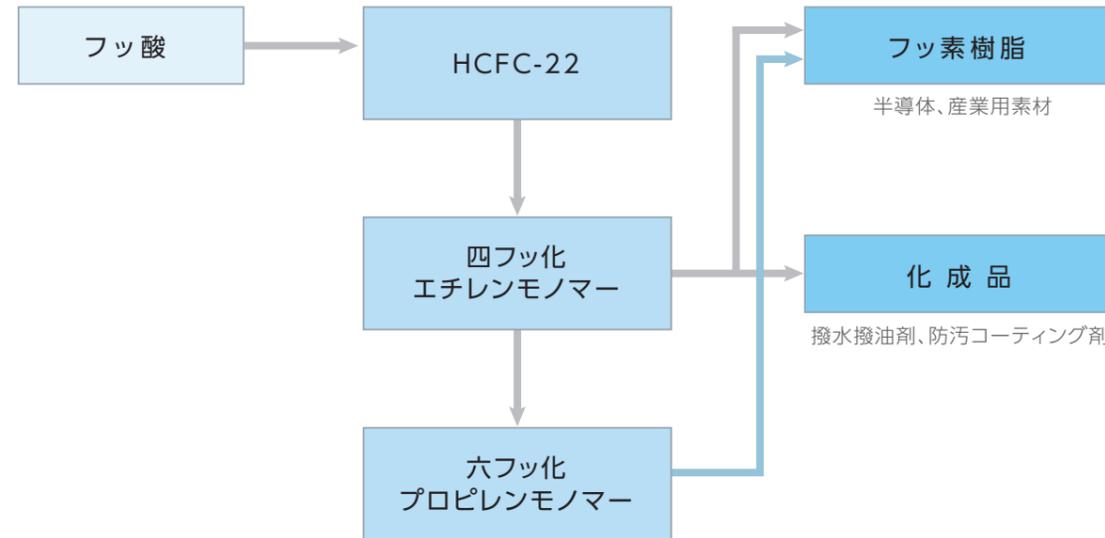


環境シンボルマーク

環境保全活動は、一人一人の小さな行動の積み重ねの総和が大きな成果をあげていくものです。緑のハート型の地球で表現した当社のシンボルマーク(2002年2月制定)には、従業員一人一人がグリーンハート(地球を思いやり、環境を大切にすることを)を持って行動するという決意が込められています。

最新の設備と固有の技術から、 高品質なフッ素化学製品が生まれます。

主な生産品目一覧



新しいフッ素化学の可能性を追求し、 フッ素樹脂、化成品を生産。

フッ素というスペシャリティケミカルの追求から生まれる、さまざまな化合物。フッ素は「化合物になると安定し、変質しない」「非粘着性、潤滑性、耐薬品性にも優れている」などの得がたい特性を持っており、ガス・樹脂・ゴム等の製品として、家庭用品から自動車、半導体まで幅広い分野で活躍しています。鹿島製作所では、先進のフッ素化学技術から生まれた高機能なフッ素樹脂、化成品を生産。1942年のエアコン用冷媒の開発に始まり培われたプラント建設技術、生産技術、品質管理技術などの総合的な技術力を存分に活かしながら、最新の設備を導入し、新しい生産システムの構築をおこなうなど、常にあらたなる領域への挑戦を続けています。また、これらの技術は、次世代のフッ素製品を開発する上で欠かせないばかりか、ダイキンの海外進出に伴い、新工場を設立する際に寄与しており、グローバル展開をする上での原動力になっています。



プラント全景

自動制御の24時間集中管理による 一貫した工程管理システム。

1983年の操業以来、常に100%の安全を心掛ける鹿島製作所では、自動制御の24時間集中管理による一貫した工程管理システムを実現。定期的なフィールド点検や工程検査などのキメ細かなチェックに、最新鋭コンピュータによる厳しい監視体制をとっています。

各工程ごとのキメ細かな検査により 徹底した品質管理を推進。

鹿島製作所では、独自の品質管理システムを導入。原料の入荷から製造・出荷に至る各工程ごとにその場で分析・検査を実施し、問題点は即時にフィードバックし改善するなど、万全の品質管理体制を確立しています。また、クリーンルーム内での検査の徹底化や産業ロボットによる生産ラインの自動化によって、より確かな品質保持に努めています。



ISO9000シリーズ認証の取得によって実証された確実な品質の製品を、より迅速に提供してお客様のニーズにお応えしています。

JQA-QMA0570

フッ素樹脂



クリーンルーム内で行なわれるフッ素樹脂自動化造粒工程



フッ素樹脂(ペレット)



フッ素樹脂被覆電線

絶縁性にすぐれ、成形品として多く用いられるネオフロンFEP、PFA。固定物質の中で最小の摩擦係数と潤滑性を持つポリフロンPTFE。

鹿島製作所が生産するこれらフッ素樹脂製品は、さまざまに形を変え、くらしと産業の中に深く浸透しています。私たちはフッ素化学におけるダイキン独自の技術力を背景に、ロボットによる自動システムや無塵状態のクリーンルーム等、充実した設備と環境の中、高品質な製品を提供。つねにフッ素樹脂のあらたなる可能性を追求しています。

- 生産品目
- ポリフロンPTFE-M
主な用途: シール材、耐食ライニングシート、絶縁性スリーブ、離型シートなど
- ネオフロンPFA
主な用途: 半導体用チューブ・継手、耐食ライニングなど
- ネオフロンFEP
主な用途: 電線被覆、チューブ、フィルム、パイプライニングなど

化成品



防汚コーティング剤 オブツールの製造工程

ディスプレイ・光学製品・ガラス表面の保護用途として、幅広く使用されている防汚コーティング剤 オブツールを生産しています。

オブツールは長年培ったフッ素合成技術を応用して開発された製品で、例えばスマートフォンの指紋汚れをつきにくくし、滑らかなガラス表面の触り心地を付与します。さらに、素材(基材)が有する特長を保ちながら、優れた撥水撥油機能を付与するフッ素系撥水撥油剤の中間原料を、グローバルに展開する各工場に供給しています。

- 生産品目
- タッチパネル等の指紋付着防止に最適な防汚コーティング剤 オブツール
- 繊維や紙などの撥水撥油剤の原料



スマートフォンやタッチパネルに使用される防汚コーティング剤 オブツール



テキスタイル・紙・カーペット用撥水撥油剤

鹿島製作所のご案内



- 東京駅八重洲南口より高速バス 鹿島神宮駅行
鹿島セントラルホテル下車(90分) タクシー(約30分)
- 成田国際空港より タクシー(約60分)
- JR成田線下総橋駅(各駅停車駅)より タクシー(約15分)
- JR成田線銚子駅(特急停車駅)より タクシー(約30分)

鹿島臨海工業地帯概要図



関東地方における鹿島の位置



ダイキン工業株式会社

<https://www.daikin.co.jp>

- 鹿島製作所 / 〒314-0255 茨城県神栖市砂山21番地 TEL.(0479)46-2441(ダイヤルイン)
- 本 社 / 〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル TEL.(06)6373-4312(ダイヤルイン)
- 東 京 支 社 / 〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル(総合受付12F) TEL.(03)6716-0111(ダイヤルイン)

